

ンキー」もほとんどん進化を遂げています。従来のテンキーは、キーパッドの汚れや腐耗、指の動きから暗証番号を推測されてしまうのが問題でした。しかし今では、これらを改善した商品が多数開発されています。

もっとも一般的なのはランダムテンキーと呼ばれるタイプ。スタートボタンを押すたびに数字の配列がランダムに変化するのが基本的な仕組みで、クマヒラの「GG-TK2セキュアパッドII」のように、3回間違えると一定時間操作ができなくなる機能を備えた商品も登場しています。また、YKK APの「内外ボタン錠シリーズ」の場合は、同一番号を押す回数を設定することで暗証番号の検索を困難にしています。

かざすだけで認証 マルチ化する 非接触ICカード

ホテルやビルなどで広く使われている「カードキー」。磁気カード、ICカード、バーコードカードなど、その方式はさまざまですが、現在もっとも進化しているのが「非接触ICカード」です。J-RE日本の定期券「Suica」がこのタイプで、リーダーにかざすだけで認証でき

るのが大きな特長。

そして、鍵としてはありませんが、ソニーが開発した方式「FeliCa」が、今のところ非接触ICカードの最先端です。高い安全性はもちろんのこと、大量のデータの書き換えが可能。一枚のカードで入退室、PCログイン、電子マネー決済などマルチに使えるのが魅力です。今後、広汎に活用されていくことが予想され、美和ロックからは「FeliCa」対応のホテル用カードキーも商品化されています。将来的には住宅用も登場するかもしれません。

他のメディアと 組み合わせた ユニークなシステムも

非認証ICカードには、他のメディアと組み合わせさせたシステム

マルチセキュリティシステム (SKRテクノロジー)

非接触ICカードに組み込まれた可視化フィルムを介さないと画像表示が見られないディスプレイを設け、長機記憶型認証ソフトと組み合わせ、敷居にガード。



セキュアードディスプレイ



画像を認証用パスシンボルとして利用する長機記憶型認証ソフト



透過型非接触ICカードとICタグ

ムも登場しています。SKRテクノロジーの「マルチセキュリティシステム」は、非認証ICカードもしくはICタグと、可視化フィルムしか通さないセキュアードディスプレイを組み合わせ、セキュリティを強化。さらに、英数字の組み合わせではなく利用者自身の記憶に基づく画像を認証用パスとし、三重にガードします。

住宅にはまだ多くは導入されていませんが、マンションやビルなどでは、電気錠+非接触ICカード、ICカード+指紋認証など、異なる認証方式を組み合わせさせて利用するケースも増加しています。今、鍵の世界が大きく変わりつつあります。将来的には鍵の存在そのものがなくなる時がくるのかもしれない。